

第5期科学技術基本計画、及び科学技術イノベーション総合戦略2016の構成

第5期科学技術基本計画	科学技術イノベーション総合戦略2016
第1章 基本的考え方	第1章 未来の産業創造と社会変革に向けた新たな価値創出の取組
第2章 未来の産業創造と社会変革に向けた新たな価値創出の取組 (1) 未来に果敢に挑戦する研究開発と人材の強化 (2) 世界に先駆けた「超スマート社会」の実現(Society 5.0) (3) 「超スマート社会」における競争力向上と基盤技術の強化	(1) 未来に果敢に挑戦する研究開発と人材の強化 (2) 新たな経済社会としての「Society 5.0」(超スマート社会)を実現するプラットフォーム (3) 「Society 5.0」(超スマート社会)における基盤技術の強化
第3章 経済・社会的課題への対応 (1) 持続的な成長と地域社会の自律的な発展 (2) 国及び国民の安全・安心の確保と豊かで質の高い生活の実現 (3) 地球規模課題への対応と世界の発展への貢献 (4) 国家戦略上重要なフロンティアの開拓	第2章 経済・社会的課題への対応 (1) 持続的な成長と地域社会の自律的な発展 (2) 国及び国民の安全・安心の確保と豊かで質の高い生活の実現 (3) 地球規模課題への対応と世界の発展への貢献 (4) 国家戦略上重要なフロンティアの開拓
第4章 科学技術イノベーションの基盤的な力の強化 (1) 人材力の強化 ① 知的プロフェッショナルとしての人材の育成・確保と活躍促進 i) 若手研究者の育成・活躍促進 ii) 科学技術イノベーションを担う多様な人材の育成・活躍促進 iii) 大学院教育改革の推進 iv) 次代の科学技術イノベーションを担う人材の育成 ② 人材の多様性確保と流動化の促進 i) 女性の活躍促進 ii) 国際的な研究ネットワーク構築の強化 iii) 分野、組織、セクター等の壁を越えた流動化の促進 (2) 知の基盤の強化 ① イノベーションの源泉としての学術研究と基礎研究の推進 i) 学術研究の推進に向けた改革と強化 ii) 戦略的・要請的な基礎研究の推進に向けた改革と強化 iii) 国際共同研究の推進と世界トップレベルの研究拠点の形成 ② 研究開発活動を支える共通基盤技術、施設・整備、情報基盤の戦略的強化 i) 共通基盤技術と研究機器の戦略的開発・利用 ii) 産学官が利用する研究施設・設備及び知的基盤の整備・共用、ネットワーク化 iii) 大学等の施設・設備の整備と情報基盤の強化 ③ オープンサイエンスの推進 (3) 資金改革の強化 ① 基盤的経費の改革 ② 公募型資金の改革 ③ 国立大学改革と研究資金改革との一体的推進	第3章 科学技術イノベーションの基盤的な力の強化 (1) 人材力の強化 I 知的プロフェッショナルとしての人材の育成・確保と活躍促進 ○若手研究者等の育成・活躍促進 II 人材の多様性確保と流動化の促進 ○女性の活躍促進 ○国際的なネットワーク構築の強化 ○分野、組織、セクター等の壁を越えた人材流動化の促進 (2) 知の基盤の強化 I イノベーションの源泉としての学術研究と戦略的・要請的な基礎研究の推進 ○科学研究費助成事業の改革・強化 ○戦略的な基礎研究の改革・強化 ○研究情報・成果の可視化 ○世界トップレベルの研究拠点の形成等の促進 II 研究開発活動を支える共通基盤技術、施設・設備、情報基盤の戦略的強化 ○最先端の研究インフラ等の整備・共用 ○共同利用・共同研究体制の強化・充実 III オープンサイエンスの推進 ○オープンサイエンスの推進 (3) 資金改革の強化 I 基盤的経費の改革 II 公募型資金の改革 III 国立大学改革と研究資金改革との一体的推進
第5章 イノベーション創出に向けた人材、知、資金の好循環システムの構築 (1) オープンイノベーションを推進する仕組みの強化 ① 企業、大学、公的研究機関における推進体制の強化 ② イノベーション創出に向けた人材の好循環の誘導 ③ 人材、知、資金が結集する「場」の形成 (2) 新規事業に挑戦する中小・ベンチャー企業の創出強化 ① 起業家マインドを持つ人材の育成 ② 大学発ベンチャーの創出促進 ③ 新規事業のための環境創出 ④ 新製品・サービスに対する初期需要の確保と信頼性付与 (3) 国際的な知的財産・標準化の戦略的活用 ① イノベーション創出における知的財産の活用促進 ② 戦略的国際標準化の加速及び支援体制の強化 (4) イノベーション創出に向けた制度の見直しと整備 ① 新たな製品・サービスやビジネスモデルに対応した制度の見直し ② 情報通信技術の飛躍的発展に対応した知的財産の制度整備 (5) 「地方創生」に資するイノベーションシステムの構築 ① 地域企業の活性化 ② 地域の特性を生かしたイノベーションシステムの駆動 ③ 地域が主体となる施策の推進 (6) グローバルなニーズを先取りしたイノベーション創出機会の開拓 ① グローバルなニーズを先取りする研究開発の推進 ② インクルーシブ・イノベーションを推進する仕組みの構築	第4章 イノベーション創出に向けた人材、知、資金の好循環システムの構築 (1) オープンイノベーションを推進する仕組みの強化 ○企業、大学、公的研究機関における推進体制の強化 ○イノベーション創出に向けた人材の好循環の誘導 ○人材、知、資金が結集する「場」の形成 (2) 新規事業に挑戦する中小・ベンチャー企業の創出強化 ○起業家マインドを持つ人材の育成 ○大学発ベンチャーの創出促進 ○新規事業のための環境創出 ○新製品・サービスに対する初期需要の確保と信頼性付与 (3) イノベーション創出に向けた知的財産・標準化戦略及び制度の見直しと整備 ○国際的な知的財産・標準化の戦略的展開 ○社会実装における標準化及び制度の見直しと整備 ○Society 5.0の実現に向けた規制・制度改革の推進と社会的受容の醸成 (4) 「地方創生」に資するイノベーションシステムの構築 ○地域経済の牽引役となる中核企業の創出・成長支援 ○地域の強み、特性を踏まえたイノベーションシステム定着の支援 ○政府関係研究機関の地方移転の着実な実施 ○地域の取組を支援する国・自治体の関係機関が、協調体制を更に実効あるものとする (5) グローバルなニーズを先取りしたイノベーション創出機会の開拓 ○QG7やTICAD VI等の国際的な場における我が国の科学技術イノベーションの取組の発信 ○グローバルなニーズを先取りする研究開発や新ビジネスの創出に向けた科学技術予測や 長期的分析体制の構築 ○先進国との国際共同研究及び新興国・途上国との国際的科学技術協力の枠組みの推進
第6章 科学技術イノベーションと社会との関係深化 (1) 共創的科学技術イノベーションの推進 ① ステークホルダーによる対話・協働 ② 共創に向けた各ステークホルダーの取組 ③ 政策形成への科学的助言 ④ 倫理的・法制度的・社会的取組 (2) 研究の公正性の確保	
第7章 科学技術イノベーションの推進機能の強化 (1) 大学改革と機能強化 (2) 国立研究開発法人改革と機能強化 (3) 科学技術イノベーション政策の戦略的国際展開 (4) 実効性ある科学技術イノベーション政策の推進と司令塔機能の強化 (5) 未来に向けた研究開発投資の確保	第5章 科学技術イノベーションの推進機能の強化 ○大学改革と機能強化 ○国立研究開発法人改革と機能強化 ○科学技術イノベーション政策の戦略的国際展開 ○Society 5.0の推進 ○2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の機会を活用した科学技術イノベーションの推進 ○実効性ある科学技術イノベーション政策の推進と司令塔機能の強化

議題(1)

議題(2)